

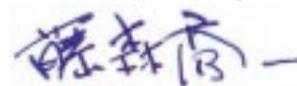
■財務諸表に係る確認書謄本

「財務諸表の正確性、内部監査の有効性についての経営者責任の明確化について(要請)」(平成17年10月7日付金監第2835号)に基づく、当社の財務諸表の適正性、及び財務諸表作成に係る内部監査の有効性に関する代表者の確認書は以下のとおりです。

確認書

平成19年6月16日

株式会社ジャパンネット銀行
代表取締役社長



- 私は、当社の平成18年4月1日から平成19年3月31日までの第7期の事業年度の財務諸表に記載した内容が、「銀行法施行規則」等に準拠して、全ての重要な点において適正に表示されていることを確認いたしました。
- 当社は、財務諸表を適正に作成するため、以下の体制を構築しておりますが、私は、当該財務諸表の作成に当たり、この体制が適切に機能したことを確認いたしました。
 - 業務分掌と所管部署が明確化され、各所管部署が適切に業務を遂行する体制
 - 財務諸表作成プロセスが明文化され、所管部署自らが当該プロセスの適切性・有効性を検証する体制
 - 内部監査部門が所管部署における内部管理体制の適切性・有効性を検証し、取締役会等で適切に報告する体制
 - 重要な経営情報が取締役会へ適切に付議・報告される体制

以上

財務諸表

当社の会社法第435条第2項に定める計算書類は、会社法第396条第1項により、監査法人トーマツの監査を受けています。

■貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	平成17年度末	平成18年度末	負債の部	平成17年度末	平成18年度末
	平成18年3月31日現在	平成19年3月31日現在		平成18年3月31日現在	平成19年3月31日現在
現金預け金	53,329	4,452	預金	262,901	307,956
預け金	53,329	4,452	普通預金	171,413	205,613
コールローン	5,000	32,000	定期預金	90,779	101,269
買入金銭債権	3,756	6,477	その他の預金	707	1,073
有価証券	232,274	278,256	コールマネー	5,000	—
国債	135,812	154,095	売渡手形	50,498	—
地方債	6,111	4,095	その他負債	2,533	4,359
社債	87,870	115,327	未払法人税等	7	7
その他の証券	2,479	4,737	未払費用	976	1,187
貸出金	21,032	22,958	先物取引受入証拠金	141	2,811
証書貸付	4,486	2,775	金融派生商品	2	170
当座貸越	16,545	20,183	その他の負債	1,405	181
その他資産	9,777	4,630	賞与引当金	43	59
未収収益	826	858	退職給付引当金	—	0
先物取引差入証拠金	2,000	680	負債の部合計	320,976	312,375
金融派生商品	343	175	純資産の部		
ソフトウェア	2,335	—	資本金	—	37,250
その他の資産	4,271	2,915	資本剰余金	—	4,626
有形固定資産	—	694	資本準備金	—	4,626
建物	—	125	利益剰余金	—	242
その他の有形固定資産	—	568	その他利益剰余金	—	242
無形固定資産	—	3,606	繰越利益剰余金	—	242
ソフトウェア	—	3,606	株式資本合計	—	42,119
動産不動産	641	—	その他有価証券評価差額金	—	△1,418
土地建物動産	493	—	評価・換算差額等合計	—	△1,418
保証金権利金	147	—	純資産の部合計	—	40,700
資産の部合計	325,811	353,076	負債及び純資産の部合計	—	353,076
			資本の部		
			資本金	20,000	—
			利益剰余金	△12,623	—
			当期末処理損失	12,623	—
			当期純利益	△27	—
			株式等評価差額金	△2,542	—
			資本の部合計	4,834	—
			負債及び資本の部合計	325,811	—